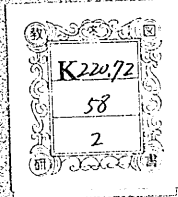


日高先生書中等習字帖

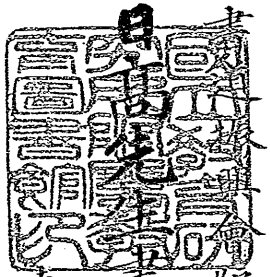
中



K220.72

58

2



編纂

中等習字帖

中

東京

西東書房發行

境遇運命前途將來

富貴貧賤繁榮衰微

毀譽褒貶頓著覺悟

治亂興廢貞婦烈士

意匠新案品質精良

實用輕便廉價無類

衛生滋養氣象測量

暴風旱魃收穫饑饉

避暑旅行暇乞餞別

歸途訪問面談應接

晚餐時刻準備料理

門閥階級席次順序



議事討論秘密記錄

出版印刷職工勞動

報酬債錢勘定受取

宮內省內閣外務省內務大藏陸軍  
海軍司法文部農商務遞信總督府  
道廳府縣貴族院衆議院警視廳警  
察署裁判所稅務署郡役所村役場

參謀本部師團旅團聯隊司令部軍  
令部鎮守府要塞砲臺軍港軍艦大  
臣次官局長書記官參事官知事  
事務官屬元帥將校下士卒位勳功爵

東京京都大阪ヲ三府トシ、横濱神戸函館新潟  
長崎ヲ五港ト云フ。各省ノ長官ヲ大臣ト云ヒ、朝鮮  
臺灣ノ總督府ノ長官ヲ總督ト云ヒ、隱岐對馬大  
島八丈島小笠原島等ノ島廳ノ長官ヲ島司ト云フ。

相感春暖融日

秋冷寒氣盈心

健康分子消光

新在打靶諫毒

樞樞大共文先卷

道殺打類形磨

寫支婁憾年正

共禮早康年正

警察官は人民の安寧秩序を  
保護するものなり。凡て官吏は

公明正大を旨とするべからず。  
上將校より下士卒に至るまで



皆その本分を守りて軍人の  
體面を汚さず奢りを戒め

懦弱に陥らざる様をすべし。  
教育勅語及び戊申詔書の

御旨趣を奉戴して違背する  
ことなきやう心懸くべし。郵便

電信局にては通信の外為替  
並に貯金のことを取扱ふ。

某は集配人の募集に応じ、受  
験の結果合格して、今日一日

より採用せられたり。電車衝  
突して数名の負傷者を出し、

一時は混雑を極めたり。病院  
には看護婦付き切りにて

病人を介抱せり。中學校にては  
證書授與式を舉行し、知事の

臨場を請ひ父兄保證人及び  
地方有志者をも招待せり。

來賓諸氏の祝辭演說等數多  
ありて非常に盛會なりき。

試験の成績の良否は生徒の平生の  
勤惰に依る。物價騰貴して細民の

困窮名状すべからん。出張せし吏員ハ  
視察の顛末を詳細に報告せり。

その結果として政府は救済の方  
法を講ずるに至れり。艱難を助け

貧弱を憐むは善良なる美德なり。  
榮達を希望する者は多けれども

清貧に満足する者は至って稀  
なり。是れ實に千載の一遇なり。

好機逸すべからず。精神一到  
何事か成らざらんとは謂はず也。



追分参り見物者支那の事お尋ねか  
御書拜見仕仕申越日御用又  
目下見の友人松向氏に付しある由に座供  
當時入園の座をくわゆる直ちに御用  
申上りんと存じ本家主相等諸君  
相捜し供へども見当り了まじく可  
は送り申上るべく留夫れまじく待  
下され候か右御用のみぞ  
十日二十日

揮毫

行草書

代官の御返書

# 拝啓

先日はおしく去年相成りし愛  
出陣中にて不祥お留置遺憾の  
至りに至る所お帰京当分は  
林中の事務整理の務め御心遣り  
なりし旨は都念江第何時ともせ  
は出お成り度候  
法中 幸ありし 儀大程  
賛成に成る所なり

五月二日 官本文平

安藤様

X-2207

# 明治壬子春日

## 榎谿居士稗父書



文部省檢定 大正九年二月十五日

明治四十五年三月廿八日印刷  
明治四十五年七月二日訂正印刷  
大正元年十一月十三日寫真縮刷

明治四十五年三月卅一日發行  
明治四十五年七月五日發行  
大正元年十一月廿一日發行

目録先生中等習字帖小形奥組  
價定 上巻 金拾八圓  
中巻 金拾圓  
下巻 金拾圓

校閱者 岡田正美  
書者 日高秩父  
編者 書道振興會  
代表者 七條愷

發行者 七條愷  
印刷者 青木貞太郎  
印刷所 東京市神田區久留町二丁目一番地  
金風版印刷合資會社

發行所

東京市神田區佐久間町一丁目一番地  
振替口座東京三三七號  
電話下谷七〇六番  
東京市日本橋區本町三丁目二番地  
振替東京二〇五五番  
電話本高二一〇〇番

西東書房  
株式會社

